

環境検討部会（第17回）議事要旨

1. 日 時 : 令和6年3月5日（火） 13:00～15:30（17:00）
2. 場 所 : 小山市役所・会議室
3. 出席者 : 別紙のとおり
4. 議事概要 : 本検討部会での決定事項、検討事項等は以下のとおり。

1) 今後の環境配慮対策工について

（委員）

既設排水路を存置することにより生態系への影響を回避しつつ、断面が不足する分の洪水量を流下させるための新設排水路については、生物多様性あるいは景観への配慮に対する考え方を整理されたい。

また、既設排水路と新設排水路の接続部の魚道は、水路幅や維持管理を踏まえて形式を検討されたい。

次回以降、未施工区間の水深や流量等の情報を整理のうえ、以上について方針を検討していく。

（委員）

上流部のワンドの検討においては、狭い面積且つ水深の上下差が生じた場合も魚類の隠れ場を確保できるよう検討されたい。

2) モニタリング調査について

（委員）

施設検討が上流部へ移行していることから、今後のNS-7，NS-8，NS-9，NS-10の調査結果のとりまとめにあたっては、地点毎に整理されたい。

（委員）

既設ワンドがタモロコの繁殖場所として機能した旨の考察について、タモロコの産卵は水草等に付着して行われるが、春先にワンドにおいて水草等が確認されていない。このことから、別の場所で孵化したタモロコが、流れの緩やかなワンドに移動してきた可能性が高い。

3) 魚道調査について

（委員）

西清水川支線排水路との接続部の魚道は、遡上調査及び降下調査の結果から、魚類の通路としての役割を果たしていると評価できる。